



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月25日

上場会社名 テクノホライゾン株式会社  
コード番号 6629 URL <https://www.technohorizon.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 052-823-8551

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	34,429	15.9	60		479		27	
2023年3月期第3四半期	29,710	26.6	1,202		1,084		1,784	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 669百万円 ( %) 2023年3月期第3四半期 586百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	2.06	
2023年3月期第3四半期	132.44	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	35,995	9,340	25.8
2023年3月期	36,903	8,711	23.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 9,269百万円 2023年3月期 8,704百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	9.7	800		600		500		37.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)特定子会社の異動に該当しない子会社の異動につきましては、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	21,063,240 株	2023年3月期	21,063,240 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	7,586,232 株	2023年3月期	7,586,231 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	13,477,009 株	2023年3月期3Q	13,477,009 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「教育」「安全・生活」「医療」「FA」の重点4市場に対し、「映像&IT」と「ロボティクス」により、持続可能で豊かな社会を実現するための仕組みやソリューションを提供しています。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は34,429百万円（前年同四半期比15.9%増）、営業利益60百万円（前年同四半期は営業損失1,202百万円）、経常利益479百万円（前年同四半期は経常損失1,084百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失27百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,784百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ① 映像&IT事業

教育市場向けの書画カメラや電子黒板の販売は、国内やアメリカで競争が激化する中、需要は想定より弱く計画を下回りました。一方で、シンガポールの子会社2社（アジア地域でのサイバーセキュリティ製品の卸売及びオフィス機器やAVシステムの販売）の販売は堅調に推移し、当該事業全体の売上高は伸長しました。

営業損益につきましては、競争激化で利幅が縮小したほか、物価上昇等による部品価格高騰や円安に伴うエネルギー及び輸入製品価格の高騰、部品調達難に伴う生産効率の低下などにより売上原価が上昇し、期首の想定以上に利益の下押し圧力が強まりました。また、更なる事業の拡大・顧客満足度の向上を目指し、営業組織を強化したことにより活動費用や管理費用が増加しました。

教育市場では、新製品の投入やソフトウェア販売を強化し、新規および更新需要の掘り起こしに努め収益力強化を図ります。

これらの結果、映像&IT事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は28,275百万円（前年同四半期比20.0%増）、営業損失は94百万円（前年同四半期は営業損失1,022百万円）となりました。

#### ② ロボティクス事業

FA関連機器は、国内市場では工場の省力化ニーズは底堅く推移しました。一方、中国市場では景気減速による設備投資抑制から計画を下回りました。また、買収した子会社（はんだ付けロボットなど工場自動化システム）の販売が国内外ともに堅調に推移しました。

営業損益につきましては、部品価格高騰や部品調達難に伴う生産効率の低下を受けておりますが、経費削減を進めました。

これらの結果、ロボティクス事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は6,153百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益は156百万円（前年同四半期は営業損失184百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は26,493百万円となり、前連結会計年度末に比べ893百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が543百万円、仕掛品が632百万円、原材料及び貯蔵品が300百万円増加した一方で、現金及び預金が246百万円、受取手形及び売掛金が2,547百万円、電子記録債権が136百万円減少したことによるものであります。固定資産は9,502百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が394百万円、無形固定資産が22百万円増加した一方で、投資その他の資産が430百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は35,995百万円となり、前連結会計年度末に比べ907百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は21,165百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,592百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1,901百万円、短期借入金が142百万円、賞与引当金が116百万円減少したことによるものであります。固定負債は5,489百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が127百万円減少した一方で、固定負債の「その他」が233百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は26,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,537百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ629百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が86百万円減少した一方で、為替換算調整勘定が683百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は25.8%（前連結会計年度末は23.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月10日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,683,306	3,437,242
受取手形及び売掛金	11,296,378	8,749,059
電子記録債権	1,215,782	1,079,586
商品及び製品	4,430,548	4,973,822
仕掛品	1,314,332	1,946,601
原材料及び貯蔵品	3,514,196	3,814,811
その他	2,037,788	2,584,164
貸倒引当金	△105,645	△92,286
流動資産合計	27,386,688	26,493,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,034,179	1,073,202
土地	2,541,880	2,589,039
その他(純額)	1,178,491	1,486,465
有形固定資産合計	4,754,550	5,148,708
無形固定資産		
のれん	1,454,908	1,510,153
その他	1,539,552	1,507,008
無形固定資産合計	2,994,460	3,017,161
投資その他の資産		
その他	1,807,566	1,376,617
貸倒引当金	△39,752	△39,752
投資その他の資産合計	1,767,814	1,336,864
固定資産合計	9,516,825	9,502,734
資産合計	36,903,513	35,995,736
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,388,381	6,486,897
短期借入金	11,190,648	11,048,623
未払法人税等	261,200	179,870
賞与引当金	247,690	131,018
その他	2,670,888	3,319,506
流動負債合計	22,758,809	21,165,916
固定負債		
長期借入金	4,698,090	4,570,800
退職給付に係る負債	61,881	11,533
その他	673,549	906,820
固定負債合計	5,433,521	5,489,153
負債合計	28,192,331	26,655,070

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500,000	2,500,000
資本剰余金	3,486,269	3,455,338
利益剰余金	3,108,635	3,022,618
自己株式	△1,917,642	△1,917,642
株主資本合計	7,177,263	7,060,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,194	△3,467
為替換算調整勘定	1,528,871	2,212,817
その他の包括利益累計額合計	1,527,676	2,209,350
非支配株主持分	6,241	71,001
純資産合計	8,711,181	9,340,666
負債純資産合計	36,903,513	35,995,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	29,710,977	34,429,375
売上原価	23,935,057	27,540,995
売上総利益	5,775,919	6,888,379
販売費及び一般管理費	6,978,163	6,827,647
営業利益又は営業損失(△)	△1,202,244	60,732
営業外収益		
受取利息	1,991	6,044
受取配当金	63,509	850
為替差益	31,370	365,526
不動産賃貸料	5,211	5,211
助成金収入	38,216	17,137
その他	47,419	108,450
営業外収益合計	187,717	503,220
営業外費用		
支払利息	55,538	69,916
支払手数料	—	5,250
その他	14,176	9,362
営業外費用合計	69,715	84,529
経常利益又は経常損失(△)	△1,084,241	479,423
特別利益		
固定資産売却益	7,483	4,685
投資有価証券売却益	2	—
負ののれん発生益	116,692	—
関係会社清算益	7,874	—
特別利益合計	132,052	4,685
特別損失		
固定資産売却損	0	2,680
固定資産除却損	2,983	7,479
投資有価証券売却損	8,520	—
退職給付制度終了損	17,093	20,974
製品保証引当金繰入額	—	201,880
その他	—	66
特別損失合計	28,598	233,080
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△980,787	251,028
法人税等	804,163	259,420
四半期純損失(△)	△1,784,950	△8,392
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	19,385
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,784,950	△27,778

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,784,950	△8,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,229	△2,272
為替換算調整勘定	1,190,543	680,118
その他の包括利益合計	1,198,772	677,845
四半期包括利益	△586,178	669,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△586,178	644,741
非支配株主に係る四半期包括利益	—	24,711

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において非連結子会社であったApollo Seiko Europe B.Vは重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において非連結子会社であったアジア株式会社はアドワー株式会社と合併したため、連結の範囲に含めております。

特定子会社の異動には該当していませんが、2023年4月25日付でウェルダンシステム株式会社の株式を取得したことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、2023年6月30日をみなし取得日としたため、第1四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結し、第2四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	映像&IT 事業	ロボティクス 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	23,567,162	6,143,814	29,710,977	—	29,710,977
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	23,567,162	6,143,814	29,710,977	—	29,710,977
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,585	5,977	13,562	△13,562	—
計	23,574,747	6,149,791	29,724,539	△13,562	29,710,977
セグメント損失(△)	△1,022,847	△184,212	△1,207,059	4,815	△1,202,244

(注) 1. セグメント損失の調整額4,815千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	映像&IT 事業	ロボティクス 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	28,275,499	6,153,876	34,429,375	—	34,429,375
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	28,275,499	6,153,876	34,429,375	—	34,429,375
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	253,876	253,876	△253,876	—
計	28,275,499	6,407,752	34,683,251	△253,876	34,429,375
セグメント利益又は損失(△)	△94,136	156,056	61,920	△1,188	60,732

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,188千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社ケーアイテクノロジーは同じく連結子会社であるアポロ精工株式会社に吸収合併しております。この吸収合併に伴い、従来「映像&IT事業」セグメントにあった株式会社ケーアイテクノロジーは「ロボティクス事業」セグメントに区分変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報はこの組織再編後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。